

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	長野県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	千曲市立屋代小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	2	2	2	1	16	27
児童数	81	82	73	55	69	49	1	410	

研究の概要

1. 研究主題

『個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善』  
 ~確かな学力の保証を目指す, 教師の意識改革・授業改善~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

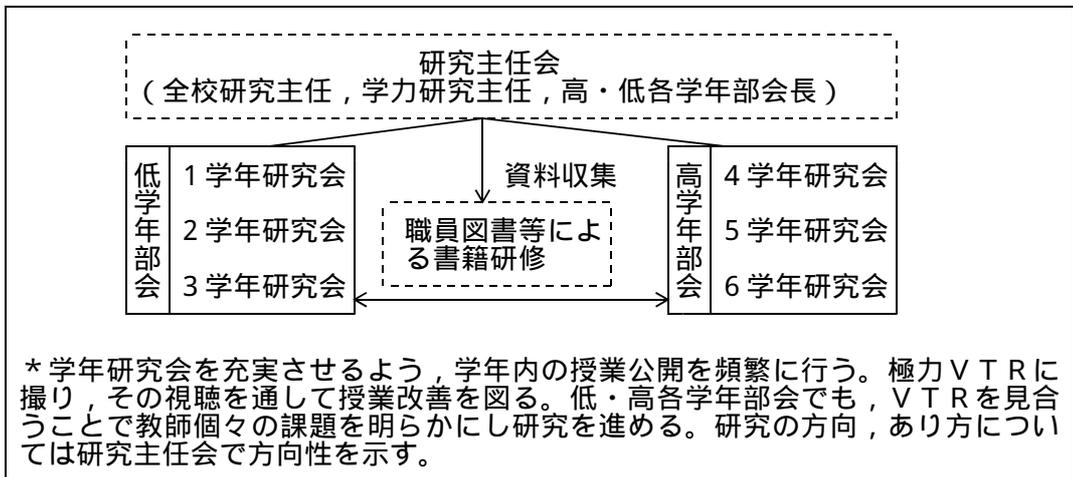
全学年 算数  
 算数は児童の理解の状況に差が出やすく, 6年間を通した系統的指導が求められる。学力向上の重点を算数に置き, 具体的な指導のあり方を求めるため, 全学年を研究対象と位置づけた。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ                  自ら考え、わかる楽しさが感じられる指導のあり方                  研究の見通し(仮説)                  算数学習の共通の指導法を求めながら, 指導法の自己改善を図り, 教師一人一人の算数学習の質を上げていくことが, 算数にはまり込み自らが知識や技能の定着に必要性を感じ取り学習に取り組む児童を育てることにつながる。日常の指導の質の向上が学力向上の第一と考えている。</p> <p>研究の内容・方法                  *算数学習の授業改善を通し, 自他の授業改善を求める教師集団の育成を図る。</p> <p>(1)算数学習の改善に向けた研究内容                  問いが生まれ, 思考の場の保証される学習                  ・問題解決型学習の創造 聴きあえる学習集団の育成を目指す                  ・評価と指導の一体化を求めて                  ・つけ法, 学習ノートの活用                  計算力の向上へ向けて                  ・ドリルの時間の保証・・・週2コマの確保                  ・一人一人が自分の力を知り, 立ち返って取り組むプリントドリル                  ・学校体制で作上げた自作ドリルの活用                  学年指導体制・・・TT指導・少人数学習                  ・副担, 専科, 教頭の活用</p> <p>(2)研究の方法                  愛知教育大学教授 志水 廣先生から学ぶ                  ・6月: 志水先生のご指導 授業公開・・・実態をつかむ                  ・8月: 志水先生による模擬授業・・・授業のイメージをつかむ                  ・2月: 志水先生を迎えて 校内研究授業・・・次年度の方向をつかむ</p> <p>研究の体制                  ・共通の指導法を全職員で実践し学び合う・・・つけ方・復唱法を中心に                  ・日常の授業をVTRに撮り, 指導法の改善を図る                  私 の つけ法, 復唱法を学年, 各部会にて検証する                  ・個に応じた少人数学習のあり方を, 他学年へ波及させる</p>
--------	--

平成 16 年 度	<p>テーマ 自ら考え、わかる楽しさが感じられる指導のあり方（継続） 研究の見通し 志水 廣先生のご指導を受けて、指導と評価の一体化を目指した算数学習の指導のあり方を求めていく。加えて、個の学びに対応できる学習指導 ・学校指導体制の改善を図ることにより、学力の向上が期待出来る。</p> <p>研究の内容・方法 * 15年度の研究成果を受け、日常の授業改善を図り続ける学校に (1)算数学習の改善に向けた研究内容 問いが生まれ、思考の場の保証される学習 ・聴き合おうとする子ども達が生み出す問題解決型学習 計算力の向上へ向けて ・ドリルの時間の保証・・・週3コマの確保 ・放課後の補習時間の確保 ・一人一人が自分の力を知り、立ち返って取り組むプリントドリル 学年指導体制・・・T T指導・少人数学習 ・学びの方の違いに対応する習熟度別学習 ・個に応じた柔軟な指導 ・副担・専科・教頭の活用</p> <p>(2)研究の方法 外部評価から ・愛知教育大学教授 志水 廣先生から学ぶ 算数学習のあり方 ・信州大学教育学部教授 橋本光明先生から学ぶ 個の違いに応じた教育課程のあり方 ・1学期、算数を窓口にして、学力向上へ向けた屋代小学校のあり方を発信する公開へ向け、研究仮説の第一次実証授業を行う。 地域の先生方へも公開し評価をいただく。 ・11月下旬公開予定</p> <p>研究体制 ・15年度同様の研究体制を推し進め、教師間の日常のつながりを重視し、授業改善を図る。</p>
--------------------	--

(3) 研究推進体制



## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

#### (1) CRT検査にみる成果

習熟度別指導へTT指導を加味した学習

少人数学習指導を行っている5年生は、昨年は等質3グループによる算数指導を行ってきた。2学期より習熟度別グループ指導を始め、本校職員を個別指導がより求められるグループへ1名加えたTT指導も取り入れ、児童の理解度の違いに応じた指導をめざしてきた。CRT検査で昨年度全国平均を大きく下回っていたが、本年度検査の結果、ほぼ全国平均となった。他学年のCRT検査は2月中旬に実施、本年度の見返しの資料とする予定である。

#### (2) 教師の意識改革にみる成果

私の指導法から屋代小学校としての指導法へ

前年度算数の学力が全国平均を下回った要因の一つに、学級間格差の存在があった。フロンティア校として、児童の算数の学力向上に学校として責任を果たすために、全学級公開とした。そこへ向け、学年研究会・部会を定期的に行き、志水先生の提唱する指導法を取り入れながら、どのクラスでも実践してみたいくなるような屋代小学校としての指導法を求めようとする教師集団が出来つつある。

### 2. 今後の課題

志水 廣先生の提唱する指導法（つけ法、復唱法）を取り入れ、実践しながら、どのクラスでも実践してみたいくなるような屋代小学校としての算数学習のあり方の追究。

個に応じた学習のあり方

学年指導体制のあり方・・・TT指導、習熟度別学習

定着の場のあり方・・・日課表・時間割への位置づけ、

### 学力等把握のための学校としての取組

\* 毎年2月に全学級で実施してきているCRT検査（国語・算数）の分析をもとに、学級・学年・学校としての課題をつかむ。

\* 自作の計算のテストを全校で行い、その分析を通して個人の課題をつかむ。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

\* 2月9日（月）校内授業研究会開催

本年度、愛知教育大学教授 志水 廣先生をお迎えし、各学年1学級及び5年、少人数学習の授業公開を行う。郡下の小・中・養護学校にも校内研究会開催の案内を行い、研修希望者へ便宜を図っている。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |  |  |  |                             |
|----------------------|--|--|--|-----------------------------|
| 【新規校・継続校】            | <input checked="" type="checkbox"/> 15年度からの新規校 | <input type="checkbox"/> 14年度からの継続校          |  |                             |
| 【学校規模】               | <input type="checkbox"/> 6学級以下                 | <input type="checkbox"/> 7～12学級              |  |                             |
|                      | <input checked="" type="checkbox"/> 13～18学級    | <input type="checkbox"/> 19～24学級             |  |                             |
|                      | <input type="checkbox"/> 25学級以上                |  |  |                             |
| 【指導体制】               | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導      | <input checked="" type="checkbox"/> T・Tによる指導 |  |                             |
|                      | <input type="checkbox"/> 一部教科担任制               | <input checked="" type="checkbox"/> その他      |  |                             |
| 【研究教科】               | <input type="checkbox"/> 国語                    | <input type="checkbox"/> 社会                  | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | <input type="checkbox"/> 理科 |
|                      | <input type="checkbox"/> 生活                    | <input type="checkbox"/> 音楽                  | <input type="checkbox"/> 図画工作          | <input type="checkbox"/> 家庭 |
|                      | <input type="checkbox"/> 体育                    | <input type="checkbox"/> その他                 |  |                             |
|                      |  |  |  |                             |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | <input checked="" type="checkbox"/> 有          | <input type="checkbox"/> 無                   |  |                             |